



開校式

若狭自然教室で、こんな学習をしてきました

6年生



楽しい食事



綱引き大会

野外炊飯



10月18日(月)～20日(水)にかけて「若狭自然教室」を実施しました。バスの中から見えるきれいな海の景色に、驚いていました。国立若狭湾青少年自然の家に到着後すぐに行われた開校式では、自然の音に耳を傾けました。波の音や木々の音や鳥の声、風の音。日常とは違う自然に囲まれた環境の中で、6年生の仲間で協力して3日間を過ごすこと、たくさんの所員の方や先生、家族の支えのもと、この体験ができることにあらためて感謝し、宿泊体験活動をスタートしました。

開校式の後は昼食をとり、『トビーの森探検隊』に出かけました。班ごとに森の中を探検し、クイズラリーを通して、森の木々や自然について学びました。ゴールした後は、夕日を背に砂浜に腰掛け、きれいな景色を眺めたり磯遊びをしたりして、みんなが思い思いの遊びを楽しみました。夜のナイトハイキングでは、曇り空のため星空を見ることはできませんでしたが、夜の森での動物の息遣いや波の音、昼とは全く違う姿を見せる真っ暗な森を楽しみました。

2日目、天気予報に反して快晴に恵まれ、海は穏やかな表情を見せていました。『野外炊飯』では焼きそばづくりを行いました。班で役割を分担しながら、火起こしや食材準備、調理を進め、薪から立ち上る煙に涙しながらも、どの班も美味しい焼きそばを作り上げていました。

『海の活動』では磯釣り・ボート活動・シュノーケリングに分かれて活動を楽しみました。いろいろな魚を釣り上げたり、押し返される波の強さを感じながら漕ぎ進め、岸を離れたときの海の静かな音を感じたり、いろいろな海の生き物と一緒に底の見えない深い海を泳いだりと、2日目にして、初めて海を間近に体験できる活動になりました。夜は「キャンドルサービス」で集いました。子どもたちは手にろうそくを持ち、火の女神とそのつかいたちが持つ誓いの火を受け取りました。これまでの小学校生活に思いを馳せながら、それぞれの誓いをしていました。その後は、活動係が企画した「引率先生クイズ大会」で盛り上がりました。

3日目、風は強く、海は荒れて白波が立ち、自然の厳しさを伝えているかのようでした。『カッター活動』が中止になり、室内で班対抗の『綱引き大会』を行いました。また、活動係による『ジェスチャークイズ大会』も行われ、大いに盛り上がりました。互いに励まし合い支え合う6年生の素晴らしさがたくさん見られた自然体験教室になりました。

大きなケガや病気もなく、笑顔あふれる3日間を過ごすことができました。思い出に残る体験活動が実施できたのは、準備をしてくださった保護者の方や、参加してくれた大学生ボランティア4名の協力があればこそだと思っています。ありがとうございました。

トビーの森の探検隊



キャンドルサービス



海辺でほっこり

海の活動



運動会・全校



10月23日(土)、令和3年度の運動会を開催しました。この週は、連日好天に恵まれ、十分に練習に取り組むことができました。運動会当日も少し風は強かったですが、素晴らしい天気になりました。

今年度の運動会のスローガンは「全力 団結 金メダル」です。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染予防のため、運動会の進め方を大幅に変更して行いました。まずは、開会式。相談室からオンラインで配信し、実施しました。凛々しい各団長の決意表明に続いてプログラム1番の準備体操(ラジオ体操)までは、各教室で行いました。

その後2年生、4年生、5年生が運動場に出て、第1部の競技を8時40分にスタートしました。5年生がこの1部の役員を全て担い、進行をしてくださいました。役員の仕事は、例年、6年生がいろいろとサポートしてくれるのですが、5年生だけで与えられた役割をこなさなくてはならないので、いつも以上に責任が重たいです。5年生の応援、放送、決勝、召集、用具とどの役割もしっかり進めていく姿が実に素晴らしく、高学年として学校をリードしていく成長を感じました。特に応援は、力のこもった素晴らしいものでした。いつもなら、1年生から4年生までがバックで一緒に応援するところを、5年生の応援団だけで行います。徒競走の1レースごとに声を張り、大きな動きをいれてダイナミックな応援を繰り広げました。

4年生も2年生も、徒競走で走る姿に力強さが出てきました。特に2年生は、スタートでしっかり止まることもできていました。団体競技は、ソーシャルディスタンスを意識して、友だちと協力してリレーを行いました。

そして、いよいよ3学年合同で行う「全力!団結!きめつダンス」。体育の時間や休み時間を使って練習してきました。5年生の本部委員会が進行を行い、本部委員会が前に出て踊ります。全校で同じダンスを踊るのは昨年度に続いて2回目です。それぞれの発達段階にあわせて、笑顔で楽しく踊っている姿が印象的でして。

ここで学年が交替して1年生、3年生、6年生の登場です。第2部が始まりました。3年生の徒競走は、子ども達の走り方に力強さを感じられるようになりました。1年生の徒競走は、コースに沿ってまっすぐに走れるようになり、スタートも上手にできました。3年生の団体競技はコーンを倒すチームと戻すチームに分かれて競うスピーディーな競技で面白かったです。1年生のリレーもそれぞれの得意なところを活かせる楽しい競技でした。そして1年生、3年生、6年生による「全力!団結!きめつダンス」。前で踊る6年生のキレのあるダンスは素晴らしかったです。1年生、3年生も練習してきた成果を十分に発揮できていました。

第3部は、5年生と6年生の力強い走りや競技が繰り広げられました。5年生の団体競技【ゴー・ゴー・リレー】は、各学級を4チームに分け、2チームずつ計6チームが走りました。友達と力を合わせる喜びを感じながら、心ひとつにしてバトンをつなぎました。6年生の【全力団結リレー】は練習を積み重ねてきたバトンパスが光りました。5年生の応援も、接戦を盛り上げてくれました。

残念ながら、全校が一斉に運動場に集まって運動会を行うことができませんでした。それでも、全校のみんなが同じダンスを練習し、踊れるようになったこと。それはとても素敵なことだと思います。

6年生にとっては、小学校最後の運動会でした。5年生と協力して、大会を進める役員として、また応援の中心になって活躍してくれました。見ている人に元気をだしてもらえそうな運動会ができたと思います。

「やまのこ」の事前学習を10月8日（金）に行いました。各学級2時間ずつ理科室を会場に、「やまのこ」学習支援サポーターの原田義子さん、園田敏郎さんのお二人からレクチャーを受けました。

最初に5つのクイズが書かれた用紙を配っていただき、それに答えながら説明を聞きました。学習した内容は

1. 樹木の見分け方（広葉樹と針葉樹 常緑樹と落葉樹 自然林と人工林）

2. 森林の果たす6つの役割

- ①自然を守り、山崩れを防ぐ
- ②水を貯える（森は緑のダム）
- ③いろいろな生き物や食べ物を育てる
- ④気温の上昇を防ぐ
- ⑤心と体をリフレッシュさせる
- ⑥建物などの木材や日用品として利用される

3. 山には手入れが必要である（間伐の大切さ）



以上の3点を、グループワークを交えながら学習しました。実際に木の枝や葉に触れながら森の魅力を学ぶことができました。学習支援サポーターのお二人からは、「大変まじめに話をきいていたので、驚いた。グループワークでも、みんな仲良く助け合いながら活動出来ていて素晴らしいかったです。理科室に入ってくる時からきちんとしていたので、素晴らしい4年生だと思いました。」と大いに褒めていただきました。

いざ、「やまのこ」本番へ

10月22日（金）は「やまのこ」本番です。野洲市にある近江富士花緑公園にバス3台に乗車して出かけました。この日は、前日の寒さも和らぎ、絶好の校外学習日和となりました。

最初に所員の方から「やま」の魅力についての話を聞きました。山の働きや私たちの生活との関係、山の中に住む危険な生き物、かわいい生き物についてわかりやすく話していただきました。その後は、12班に分かれて指導員さんに導かれ、いざ山の中へ。指導員さんの解説付きで、全部で7問あるクイズを解きながら1時間半ほど山の中を歩きました。「食べられるドングリについて」「モグラの穴について」「シダ植物を使った遊びについて」など森の中にある植物や生き物を通して、子どもたちがわくわくするようなお話をたくさんしてくださいました。

たくさん歩いた後は、お家の方につくっていただいたお弁当で、ウォークラリーでぺこぺこになったお腹を満たしました。昼からは丸太の幹をノコギリで切り落としました。ペアで丸太に跨がってもらい、一生懸命に切ります。なかなか切れない子も、手伝ってもらいなんとか全員切り落とすことができました。切った丸太やウォークラリー中に拾ったドングリや葉っぱなどは、図画工作科「ひみつのすみか」の学習で使用する予定です。

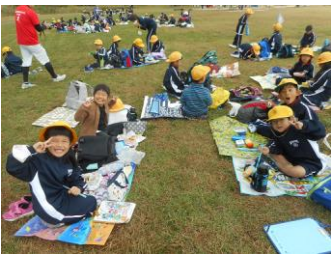


秋をさがしに・・・1年生

10月21日(木)、1年生が「びわこ地球市民の森」へ校外学習に出かけました。この日は北風が冷たい曇り空の日でしたが、1年生は元気いっぱい活動することができました。

8:50に学校を出発し、9:20に予定通り現地に到着。学級ごとに3つのコースに分かれて活動を行いました。「もりたんけん」では、市民の森のスタッフの方に案内していただき、秋の森を散策し自然を満喫しました。「こうさく」では、施設の中でスタッフの方に木や木の実を使った工作を教えていただきました。一人一人工夫した素敵な作品が出来上がりました。「あきみつけ」のコースでは、「あきみつけビンゴ」を使いながら、落ち葉やドングリを探し、生活科の学習を進めました。また、遊具を使って友達と楽しく遊び交流を深めました。

子どもたちからは、「夢みたいない日や」「すごく楽しかった」「ぜったいまたここに遊びに来よう」という感想が聞かれました。バスで出かける小学校最初の校外学習、素敵な思い出がたくさんできました。



読書感想文の紹介

「読書の秋」、素敵な本に出合えると、心が豊かになりますね。草津小学校では、自分のお気に入りの本を紹介するポスターを応募してもらい、全校で紹介する取組が始まります。夏休みの課題として取り組んだ2年生の奥村陽さんの読書感想文が、草津市の代表として滋賀県のコンクールに出品されましたので、紹介します。

「思い出のあな」

おく村はる

「あなをふさぐしごとってすごい。」

ぼくは、さいしょにこの本を読んでこう思いました。だって、ぴったりの色の糸を自分でつくって、あながどこにあったか分からないようになおすからです。だから、そんなことができるジグモンタンがかっこいいと思いました。

ぼくも、くつ下にあながあいたとき、なおしてもらったことがあります。お気に入りのくつしただったので、おばあちゃんになおしてもらったとき、ほっとしました。なおしてもらっていなかったら、今ごろぼくのお気に入りのくつ下は、すてられていました。あなをふさいでもらうのは、うれしいことだと思いました。

でも、ジグモンタンは、あながあいていたのが分からないようになおすだけじゃなくて、あながあいたところが思い出になるようになおしていました。ハソオゾミさんも、ジグモンタンにかざりつけてもらったベールを、ずっとながめていたのは、お姉ちゃんのけっこんしきのことを思い出して、うれしかったからだと思います。

ぼくのいえのキッチンによこにも、かべがみをやぶったあながあります。ぼくが小さいときに、やんちゃなことをしてやぶったあなです。そのあとに、妹とお兄ちゃんがあなをおおきくしたあともあります。お母さんは、そのあなを見てぼくたちのちいさなときのやんちゃなことを思い出してるそうです。いつか、ジグモンタンみたいに、このあなが思い出になるように、しゃしんをはったりしてなおしたいと思います。

あながあくことは、ちょっとかなしいことだけど、ジグモンタンみたいに、思い出になるようになおせたら、ちょっとうれしいことにかわると思います。これからも、あながあいていたらすぐにすてるんじゃなく、思い出になるようになおして、ずっと大切に使いしていきたいです。

